

■ 基本情報

記入者番号	名前	姓	名
家族構造			
生年月日	西暦 年 月 日	性別	1.男 2.女
性別	男	女	
出生地名	姓(姓)	名(姓)	名(姓)
家族歴			
1.あり なし 3.不明	2.母	3.同胞(男性) 4.同胞(女性) 5.祖父(父方)	
6.祖母(父方) 7.祖父(母方) 8.祖母(母方) 9.祖母(孫子) 10.その他 説明 ()			
既往歴			
1.歩き回るのに問題ない 2.いろいろ問題はある 3.足りてない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
既往の管理			
1.歩道や階段など問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
ふだんの活動			
1.問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
寝込み/不快感			
1.ない 2.中程度ある 3.多くある 4.ひどい	5.ひどく不快な状況で起きている	6.ひどく不快な状況で起きている	
不快/ふしぎ感			
1.問題ない 2.中程度 3.多くある 4.ひどい	5.ひどく不快な状況で起きている	6.ひどく不快な状況で起きている	

■ 症状基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 症状観察(該当する項目に印を記入する)

大項目	細かい説明	1.該当 2.該当なし 不明
a) 高齢者高血圧でつるつるした骨幹部や脛骨部があり、または骨幹部の过大やひびき		1.該当 2.該当なし 不明
b) 高カルシウムスファーテー血症		1.該当 2.該当なし 不明
参考値：血清Ca：1200mg/dl以上、1.乳幼児：初期期(1000mg/dl以上)		1.該当 2.該当なし 不明
既往歴		
c) 血清カルシウム血症		1.該当 2.該当なし 不明
d) 血清アルカリホスファターゼ血症		1.該当 2.該当なし 不明
参考値：血清ALP：1歳未満(150U/L)、1歳以上(100U/L)、10歳以上(50U/L)、15歳以上(40U/L)		1.該当 2.該当なし 不明
e) 血清カルシウム血症(直清カルシウム補正8.4mg/dl以下、イオン化カルシウム2.1mmol/L以下)		1.該当 2.該当なし 不明
f) 骨病変		1.該当 2.該当なし 不明
既往歴		1.該当 2.該当なし 不明
g) 骨病変		1.該当 2.該当なし 不明

B. 症状解析

以下の内容を箇示し、全て該当できる。既往の病歴に印を記入する。	1.全くなかった 2.新規 3.既往なし 不明
□アカデミックな 4.ビタミンD依存性 5.ビタミンD抵抗性 6.カルシウム過剰状態	
□血清Ca 7.高カルシウム血症 8.高カルシウム血症低下	

<診断のカテゴリー>(該当する項目に印を記入する)

□既往例：A. 骨病変所見における骨病変外見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの
□既往例：B. 骨病変所見における骨病変内見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの
□既往例：C. 骨病変所見における骨病変外見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの

■ 治療履歴(該当する項目に印を記入する)

測定日	年 月 日	測定目的	測定値	参考値
血清ALP	mg/dL	血中カルシウム	mg/dL	mg/dL
血清カルシウム	mg/dL	血中ALP	U/L	U/L
□ Intact PTH または □ Calcitonin PTH	pg/mL	血中PCT	pg/mL	pg/mL
1.正常範囲	()	尿カルシウム濃度	mg/g	mg/g
尿中Ca濃度	mg/g	尿中カルシウム濃度	mg/g	mg/g
尿中Ca排泄	mg/g	尿中PCT	pg/mL	pg/mL
尿	体液	体液	kg	kg

■ 遺伝学的検査

遺伝子検査の結果	1.実験 2.未実験 不明
□遺伝子検査	□遺伝子検査

■ 治療その他の

骨病変の既往	1.実験 2.未実験 不明
治療	1.実験 2.未実験 不明

治療の内容：()

■ 重症分類に関する事項(該当する項目に印を記入する)

□既往例	生化学検査を認めらるため、骨病変が成因検査、筋力低下などを認めた。日常生活に支障がある。
□中等症	骨密度が成因検査で2.5SDから-2SDの範囲、筋力低下(歩行困難、骨筋(筋肉筋膜)肥厚)などにより、日常生活に支障がある。
□重症	骨密度が成因検査で-2.5SDから-3SD以下、筋力低下(立ち上がり困難)などにより、日常生活に支障がある。

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	1.なし
定期的	1.なし 2.定期的 3.不明
間歇的	1.歩き回るのに問題ない 2.いろいろ問題はある 3.足りてない
自分での管理	1.歩道や階段など問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない
ふだんの活動	1.問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない
寝込み/不快感	1.ない 2.中程度ある 3.多くある 4.ひどい
不快/ふしぎ感	1.問題ない 2.中程度 3.多くある 4.ひどい

既往病歴名

既往病歴番号 ()

既往病歴所在地

既往病歴番号 ()

既往の既往

既往の既往番号 ()

238-2 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症（骨軟化症）

■ 基本情報

記入者番号	名前	姓	名
家族構造			
生年月日	西暦 年 月 日	性別	1.男 2.女
性別	男	女	
出生地名	姓(姓)	名(姓)	名(姓)
家族歴			
1.あり なし 3.不明	2.母	3.同胞(男性) 4.同胞(女性) 5.祖父(父方)	
6.祖母(父方) 7.祖父(母方) 8.祖母(母方) 9.祖母(孫子) 10.その他 説明 ()			
既往歴			
1.歩き回るのに問題ない 2.いろいろ問題はある 3.足りてない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
既往の管理			
1.歩道や階段など問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
ふだんの活動			
1.問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない	4.足りすぎる	5.自分でできない	
寝込み/不快感			
1.ない 2.中程度ある 3.多くある 4.ひどい	5.ひどく不快な状況で起きている	6.ひどく不快な状況で起きている	
不快/ふしぎ感			
1.問題ない 2.中程度 3.多くある 4.ひどい	5.ひどく不快な状況で起きている	6.ひどく不快な状況で起きている	

■ 症状基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 症状観察(該当する項目に印を記入する)

大項目	細かい説明	1.該当 2.該当なし 不明
a) 血清カルシウム血症		1.該当 2.該当なし 不明
□低カルシウム血症		1.該当 2.該当なし 不明
参考値：血清カルシウム補正8.4mg/dl以下、イオン化カルシウム2.1mmol/L以下		1.該当 2.該当なし 不明
既往歴		
c) 骨病変		1.該当 2.該当なし 不明
□骨病変(参考：やがて骨頭から立ち上がりが難しく、歩行困難不可など) □骨痛		1.該当 2.該当なし 不明
□骨痛(参考：歩行や手筋(筋肉)の痛み)		1.該当 2.該当なし 不明
□骨病変(参考：チグリフィーでの肋骨など多発散在)		1.該当 2.該当なし 不明
□骨病変(参考：骨髄炎のLoser's zone)		1.該当 2.該当なし 不明

B. 症状解析

以下の内容を箇示し、全て該当できる。既往の病歴に印を記入する。	1.全くなかった 2.新規 3.既往なし 不明
□骨病変 4.骨筋筋膜炎 5.多発性筋膜炎 6.骨筋筋膜炎	
□骨病変	

<診断のカテゴリー>(該当する項目に印を記入する)

□既往例：B. 骨病変所見における骨病変外見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの
□既往例：B. 骨病変所見における骨病変内見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの
□既往例：C. 骨病変所見における骨病変外見で、A. 骨病変所見の大項目はつと小項目の2つを複数あるもの

■ 治療履歴(該当する項目に印を記入する)

測定日	年 月 日	測定目的	測定値	参考値
血清ALP	U/L	血中カルシウム	mg/dL	mg/dL
血清カルシウム	mg/dL	血中ALP	U/L	U/L
□ Intact PTH または □ Calcitonin PTH	pg/mL	血中PCT	pg/mL	pg/mL
1.正常範囲	()	尿カルシウム濃度	mg/g	mg/g
尿中Ca濃度	mg/g	尿中カルシウム濃度	mg/g	mg/g
尿中Ca排泄	mg/g	尿中PCT	pg/mL	pg/mL
尿	体液	体液	kg	kg

■ 遺伝学的検査

遺伝子検査の結果	1.実験 2.未実験 不明
□遺伝子検査	□遺伝子検査

■ 治療その他の

骨病変の既往	1.実験 2.未実験 不明
治療	1.実験 2.未実験 不明

治療の内容：()

■ 重症分類に関する事項(該当する項目に印を記入する)

□既往例	生化学検査を認めらるため、骨病変が成因検査、筋力低下などを認めた。日常生活に支障がある。
□中等症	骨密度が成因検査で2.5SDから-2SDの範囲、筋力低下(歩行困難、骨筋(筋肉筋膜)肥厚)などにより、日常生活に支障がある。
□重症	骨密度が成因検査で-2.5SDから-3SD以下、筋力低下(立ち上がり困難)などにより、日常生活に支障がある。

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	1.なし
定期的	1.なし 2.定期的 3.不明
間歇的	1.歩き回るのに問題ない 2.いろいろ問題はある 3.足りてない
自分での管理	1.歩道や階段など問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない
ふだんの活動	1.問題ない 2.いろいろ問題はある 3.自分でできない
寝込み/不快感	1.ない 2.中程度ある 3.多くある 4.ひどい
不快/ふしぎ感	1.問題ない 2.中程度 3.多くある 4.ひどい

既往病歴名

既往病歴番号 ()

既往病歴所在地

既往病歴番号 ()

既往の既往

既往の既往番号 ()

既往病歴名

既往病歴番号 ()

既往の既往

既往の既往番号 ()

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	1.なし

<tbl_r cells="2" ix="

■ 基本情報

受診者番号	名前					性別	年齢
姓(姓氏)	名(名字)	姓(姓氏)	名(名字)	姓(姓氏)	名(名字)		
郵便番号	住所						
生年月日	西暦 年 月 日	性別	1.男 2.女				
出産年月日							
出生地名氏(近親のある場合)	姓(姓氏) 名(名字)	姓(姓氏) 名(名字)	姓(姓氏) 名(名字)				
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明						
配偶者	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(男性) 5.同母(女性) 6.祖父母(父方)	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(女性) 6.祖父母(父方)	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(女性) 6.祖父母(父方)				
既往歴	7.祖母(父方) 8.祖父(母方) 9.祖母(母方) 10.いたこ 11.その他 総合						
既往歴	西暦 年 月						
既往歴	令度評定 1.完全無 2.更衣交換 3.なし	要介護度	1.2.3.4.5				
生活状況							
運動の歴史	1.歩き回るのに問題はない 2.いいから問題はある 3.足動きができない						
心の歴史の管理	1.医師や看護師に問題がない 2.いいから問題はある 3.自分でできない						
ふだんの活動	1.問題ない 2.いいから問題がある 3.行動うごめきできない						
寝込み/不快感	1.なし 2.中程度ある 3.ひどい						
不眠/ふしこり	1.問題ない 2.中程度ある 3.ひどくわかる不容易している						

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 感染既往

①血中コインシン: 1mg/dL (300 μmol/L)以上	1.既往 2.初期既往 3.不明
感覚の変化となる現象	
①家中・栄養アミノ酸分析(コインシン陽性、イソコインシンの増加、ハリニの増加、アラニンの低下)	1.認定 2.非認定 3.不明
②代謝検査: 血液検査、尿検査、ケト酸の増加、分岐鎖ヒドロキ酸の増加	1.既往 2.初期既往 3.不明
③運動活性	1.既往 2.初期既往 3.不明
④尿中アミノ酸分析: 血尿検査、尿中尿酸などを用いた分離検査; 尿脱水素酵素の酵素活性の測定	1.既往 2.初期既往 3.不明
⑤遺伝子検査	1.実施 2.未実施 3.不明
<既往の検査、既往すべき事項など>	

既往(既往): アイソコインシン陽性。

1.既往 2.初期既往 3.不明

B. 症状解析

以下を記入し、全て該当できる。疑わざきた現象には記入する。	1.令度評定 2.初期既往 3.不明
□ ターンス: 2.チアミン欠乏 □ 呼吸困難	

<診断のカテゴリー>

□ 血中コインシン: 血中コインシンが1mg/dL (300 μmol/L)以上で、既往の相談と今後既往におけることを認める	1.既往 2.初期既往 3.不明
□ 血中コインシン: 血中コインシンが1mg/dL (300 μmol/L)以上で、既往の相談と今後既往におけることを認める	

<既往に該当しない>

□ 血中コインシン: 血中コインシンが1mg/dL (300 μmol/L)以上で、既往の相談と今後既往におけることを認める	1.既往 2.初期既往 3.不明
--	------------------

受診者番号	名前					性別	年齢
姓(姓氏)	名(名字)	姓(姓氏)	名(名字)	姓(姓氏)	名(名字)		
郵便番号	住所						
生年月日	西暦 年 月 日	性別	1.男 2.女				
出生年月日							
出生地名氏(近親のある場合)	姓(姓氏) 名(名字)	姓(姓氏) 名(名字)	姓(姓氏) 名(名字)				
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明						
配偶者	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(男性) 5.同母(女性) 6.祖父母(父方)	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(女性) 6.祖父母(父方)	配偶者名姓 1.父 2.母 3.子 4.同母(女性) 6.祖父母(父方)				
既往歴	7.祖母(父方) 8.祖父(母方) 9.祖母(母方) 10.いたこ 11.その他 総合						
既往歴	西暦 年 月						
既往歴	令度評定 1.完全無 2.更衣交換 3.なし	要介護度	1.2.3.4.5				
生活状況							
運動の歴史	1.歩き回るのに問題はない 2.いいから問題はある 3.足動きができない						
心の歴史の管理	1.医師や看護師に問題がない 2.いいから問題はある 3.自分でできない						
ふだんの活動	1.問題ない 2.いいから問題がある 3.行動うごめきできない						
寝込み/不快感	1.なし 2.中程度ある 3.ひどい						
不眠/ふしこり	1.問題ない 2.中程度ある 3.ひどくわかる不容易している						

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 感染既往

□ 血中アミノ酸分析: フロニオニドウリニン: 血中の増加	1.既往 2.初期既往 3.不明
<既往の項目に該当する>	
□ 血中アミノ酸分析: フロニオニドウリニン: 血中の増加	1.既往 2.初期既往 3.不明

B. 遺伝学的検査

遺伝子検査	1.既往 2.未実施
<遺伝子検査結果>	

C. 症状解析

以下を記入し、全て該当する場合は記入する	1.既往可 2.除外不可 3.不明
<メチオノン酸症>	

<診断のカテゴリー> (該当する項目に記入する)

□ 血中アミノ酸分析: フロニオニドウリニン: 血中の増加	A. 施設既往 1.なし 2.あり
<既往の項目に該当する>	
□ 血中アミノ酸分析: フロニオニドウリニン: 血中の増加	A. 施設既往 1.なし 2.あり

■ 重症度分類に関する事項

先天性代謝異常症の重症度評価 (1~VI合計 10)

● 重症度評価: 以下の1から10までの各個別評価合計点をもとに以下の評価に記入する
□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
□ 中等度評価した(既往可10点の場合)

(1~10の各項目について該当する項目に記入する)

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲	□ 重症度評価: 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲
<該当する項目に記入する>	

□ 血中アミノ酸の濃度が1~10までの範囲</td

■ 基本情報

受診者番号				
性別	男(漢) 女(漢) 不明			
年齢	1歳			
出生年月日	昭和 年 月 日 性別 1男 2女			
出生地	東京			
生年月日	昭和 年 月 日 性別 1男 2女			
出生氏名	姓(漢) 名(漢) 中(漢) 爵(漢)			
初診歴	1.あり 2.なし 3.不明			
既往歴	発症後初期より父・母・子・孫・同胞(男性)・同胞(女性)・親類(父・母)			
既往歴	2.祖母(父の母)・伯母(母の母)・姉(母の母)・孫(母の母)・孫(母の母)			
既往歴	3.その他			
既往歴	4.既往歴			
既往歴	5.既往歴			
既往歴	6.既往歴			
既往歴	7.既往歴			
既往歴	8.既往歴			
既往歴	9.既往歴			
既往歴	10.既往歴			
既往歴	11.既往歴			
既往歴	12.既往歴			
既往歴	13.既往歴			
既往歴	14.既往歴			
既往歴	15.既往歴			
既往歴	16.既往歴			
既往歴	17.既往歴			
既往歴	18.既往歴			
既往歴	19.既往歴			
既往歴	20.既往歴			
既往歴	21.既往歴			
既往歴	22.既往歴			
既往歴	23.既往歴			
既往歴	24.既往歴			
既往歴	25.既往歴			
既往歴	26.既往歴			
既往歴	27.既往歴			
既往歴	28.既往歴			
既往歴	29.既往歴			
既往歴	30.既往歴			
既往歴	31.既往歴			
既往歴	32.既往歴			
既往歴	33.既往歴			
既往歴	34.既往歴			
既往歴	35.既往歴			
既往歴	36.既往歴			
既往歴	37.既往歴			
既往歴	38.既往歴			
既往歴	39.既往歴			
既往歴	40.既往歴			
既往歴	41.既往歴			
既往歴	42.既往歴			
既往歴	43.既往歴			
既往歴	44.既往歴			
既往歴	45.既往歴			
既往歴	46.既往歴			
既往歴	47.既往歴			
既往歴	48.既往歴			
既往歴	49.既往歴			
既往歴	50.既往歴			
既往歴	51.既往歴			
既往歴	52.既往歴			
既往歴	53.既往歴			
既往歴	54.既往歴			
既往歴	55.既往歴			
既往歴	56.既往歴			
既往歴	57.既往歴			
既往歴	58.既往歴			
既往歴	59.既往歴			
既往歴	60.既往歴			
既往歴	61.既往歴			
既往歴	62.既往歴			
既往歴	63.既往歴			
既往歴	64.既往歴			
既往歴	65.既往歴			
既往歴	66.既往歴			
既往歴	67.既往歴			
既往歴	68.既往歴			
既往歴	69.既往歴			
既往歴	70.既往歴			
既往歴	71.既往歴			
既往歴	72.既往歴			
既往歴	73.既往歴			
既往歴	74.既往歴			
既往歴	75.既往歴			
既往歴	76.既往歴			
既往歴	77.既往歴			
既往歴	78.既往歴			
既往歴	79.既往歴			
既往歴	80.既往歴			
既往歴	81.既往歴			
既往歴	82.既往歴			
既往歴	83.既往歴			
既往歴	84.既往歴			
既往歴	85.既往歴			
既往歴	86.既往歴			
既往歴	87.既往歴			
既往歴	88.既往歴			
既往歴	89.既往歴			
既往歴	90.既往歴			
既往歴	91.既往歴			
既往歴	92.既往歴			
既往歴	93.既往歴			
既往歴	94.既往歴			
既往歴	95.既往歴			
既往歴	96.既往歴			
既往歴	97.既往歴			
既往歴	98.既往歴			
既往歴	99.既往歴			
既往歴	100.既往歴			
既往歴	101.既往歴			
既往歴	102.既往歴			
既往歴	103.既往歴			
既往歴	104.既往歴			
既往歴	105.既往歴			
既往歴	106.既往歴			
既往歴	107.既往歴			
既往歴	108.既往歴			
既往歴	109.既往歴			
既往歴	110.既往歴			
既往歴	111.既往歴			
既往歴	112.既往歴			
既往歴	113.既往歴			
既往歴	114.既往歴			
既往歴	115.既往歴			
既往歴	116.既往歴			
既往歴	117.既往歴			
既往歴	118.既往歴			
既往歴	119.既往歴			
既往歴	120.既往歴			
既往歴	121.既往歴			
既往歴	122.既往歴			
既往歴	123.既往歴			
既往歴	124.既往歴			
既往歴	125.既往歴			
既往歴	126.既往歴			
既往歴	127.既往歴			
既往歴	128.既往歴			
既往歴	129.既往歴			
既往歴	130.既往歴			
既往歴	131.既往歴			
既往歴	132.既往歴			
既往歴	133.既往歴			
既往歴	134.既往歴			
既往歴	135.既往歴			
既往歴	136.既往歴			
既往歴	137.既往歴			
既往歴	138.既往歴			
既往歴	139.既往歴			
既往歴	140.既往歴			
既往歴	141.既往歴			
既往歴	142.既往歴			
既往歴	143.既往歴			
既往歴	144.既往歴			
既往歴	145.既往歴			
既往歴	146.既往歴			
既往歴	147.既往歴			
既往歴	148.既往歴			
既往歴	149.既往歴			
既往歴	150.既往歴			
既往歴	151.既往歴			
既往歴	152.既往歴			
既往歴	153.既往歴			
既往歴	154.既往歴			
既往歴	155.既往歴			
既往歴	156.既往歴			
既往歴	157.既往歴			
既往歴	158.既往歴			
既往歴	159.既往歴			
既往歴	160.既往歴			
既往歴	161.既往歴			
既往歴	162.既往歴			
既往歴	163.既往歴			
既往歴	164.既往歴			
既往歴	165.既往歴			
既往歴	166.既往歴			
既往歴	167.既往歴			
既往歴	168.既往歴			
既往歴	169.既往歴			
既往歴	170.既往歴			
既往歴	171.既往歴			
既往歴	172.既往歴			
既往歴	173.既往歴			
既往歴	174.既往歴			
既往歴	175.既往歴			

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）

地図の左側	上段	下段	右側
開始地点	西岸	下り	沿岸航行ルート
終点	1.英吉利海峡を含む人工開拓区	ヨーロッパ又はアフリカ大陸を含む人工開拓区	上段ルート
航路区分	1.開拓航路	2.既存(既開拓)航路	ヨーロッパ航路
特徴	①自己二段分岐式、完全型 ②自己二段分岐式可逆型 ③自己二段分岐式不可逆型 ④既存航路	①船とドック間の操作 トライ動作 船橋 船橋昇降 操縦コントロール	①ヨーロッパ開拓航路部分動作、全局動作 ②既存二段分岐式、ヨーロッパ ③自己二段分岐式、ヨーロッパ ④自己二段分岐式、ヨーロッパ

医療機関名	老健医療		
医療機関所在地	宮崎県宮崎市		
医療機関の名	宮崎市立老人保健施設		
申込者名	甲 1歳未満の子・千葉 幸一郎		
在院期間は如何のこと			
- 本申請は、もう既に退院したので、現在は既に退院しておらず、今後も申請の必要はないと思ふのであります。			
- 本申請は、既に退院してしまったので、退院後も申請の必要はないと思ふ。			

249 グルタル酸血症1型

— 播放 ■ 定制

■ 基本数据

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

For more information about the study, please contact Dr. John C. Scott at (319) 335-1111 or email at jscott@uiowa.edu.

A. 主要既視（該当する項目に印を記入する）

項目	説明	備考
1. 生きるまでの運動能を認め、あるいは見出しえるに至る個人を示す		1. 健常 2. 非健常 3. 不確実
2. 開始状況		

B. 離昧検査(該当する項目に印を記入する)

①直中シルバーディ分析
二回→OC (カルタリカニニン) の上昇
三回 (逆離カルタニン) の下落

②直中荷物分析
二回シルバーディの出現例
二回ヒートカタイグリの過渡期

③直中荷物の出現頻度 (4回)
二回、三回の頻度が最も多く伴う前項と側面で強い影響相互化
三回出現：基盤、前回2回目、消滅、既往歴、病歴を含む。柔軟性変化と複数での発現例多 (即座に可逆的、な半導と側面で複数例)
二回出現：みられない異常経過の後、12歳まで個性的な傾向

自然発生性：シルバーディや荷物出現頻度全く不用で、アルタリスによる既往経験の有無等もしくは基因、上昇率、上昇頻度等不確

C. 道云学苑

＜診断のカテゴリー＞（該当する項目に印を記入する）

□確定診断：酵母細胞にてブルタリ

□確定診断：C. 進化子的族名にての確定子（）

□いずれに該当しますか。	
■ 重点実績分類に関する事項	
先づ代謝機能の重点実績【1～5合計】	50
他の欄【（記入欄）おまかせの各項目に該当する場合は、□に記入する】	
□重複はありますか？	□重複はありません。
□重複はありますか？	□重複はありません。
□重複はありますか？	□重複はありません。

(1-130)的断点不适用于2000年1月1日

（1～5の番号する箇所に記入する）

□a.治療を要しない。□b.内服薬のために何らかの運動を用いた治療を併用している。□c.急性軽症的内耳毒性症候群に併せてきた。□d.急性水腫時に頭痛管理、加熱化粧を必要とする。

□a.危機制御など特に必要なない(0)

□c. 牛乳を過剰して使用するなどの中程度の食事制限が必要である(2)

二d.印度の異常筋が半脱している(右)変形をし

外因性の精神運動の疾患群、精神空洞、健

A.馬鹿を認めて、《》二頭の強度の弱さを送る。月にして、実際の出来事や問題などを用いて自己行動や問題を理解。集中。(1)
 B.中風毛の弱さを認めると、自己として、実際の出来事や問題を理解する能力が強くなる。

V段印の発送料金に関する説明 以下の一

飞腾 飞腾（微处理器）

自己実現のための行動	自己実現のための行動	自己実現のための行動
自己表現、問題、心肺など、牛乳の問題がある（自己）	自己表現、問題、心肺など、牛乳の問題がある（自己）	自己表現、問題、心肺など、牛乳の問題がある（自己）
自己達成、自己成長、自己実現など、あらゆる活動が心地よいである	自己達成、自己成長、自己実現など、あらゆる活動が心地よいである	自己達成、自己成長、自己実現など、あらゆる活動が心地よいである
自己達成（自己）・自己成長（自己）・自己実現（自己）を追求する	自己達成（自己）・自己成長（自己）・自己実現（自己）を追求する	自己達成（自己）・自己成長（自己）・自己実現（自己）を追求する
自己、自己の人生（自己）・自己から（自己が必要）	自己、自己の人生（自己）・自己から（自己が必要）	自己、自己の人生（自己）・自己から（自己が必要）

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）

就業時間		あり	年	月	離職申込み	ありなし
就業時間		あり	年	月	離職申込み	ありなし
就業場所		あり	年	月	離職申込み	ありなし
就業内容		あり	年	月	離職申込み	ありなし
就業状況						
食事	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就寝	<input type="checkbox"/> □部分勤務不可用 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
入浴	<input type="checkbox"/> □部分勤務不可用 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就業日数	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就業時間	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就業曜日	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就業場所	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし
就業内容	<input type="checkbox"/> □部分勤務 <input type="checkbox"/> 全勤勤務		年	月	離職申込み	ありなし

250 グルタル酸血症2型

■ 基本情報				
受取者番号				
被認定者	名(姓)			
配偶者	名(姓)			
利害関係	住所			
生年月日	西暦 年 月 日	性別	男	女
生年月日(被認定者の場合)	性(姓)	名(姓)	姓(姓)	名(姓)
親類	L.あり L.なし L.不明			
配偶者関係	夫 L.妻 L.子 L.同居 L.異居(男性) L.同居 L.女性 L.義父(父分) L.義母(父分) L.義父(母分) L.義母(母分) L.娘 L.息子 L.孫 L.曾孫			
登録用	登録 年 月			
会員登録	会員登録			
会員登録	L.会員登録 L.変更登録 L.なし 变更履歴 1 2 3 4 5			
会員登録				
佛事の担当				
佛事の担当	1.歩き回るのし問題がない 2.いいくらか根掛がある 3.座りきりである			
歩き回るのし問題	1.歩き回るのし問題がない 2.いいくらか根掛がある 3.自分でさげる			
ふだんの行動	1.問題がない 2.いいふだん問題がある 3.何をすることができない			
宿泊・不快感	1.なし 2.中程度 3.多い			
不快・ふだんさぎ込み	1.問題がない 2.中程度 3.ひどく不快な感じやふだんさぎ込んでいる			

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 主要研究

①調査票、丸印	● 調査 2. 用語 2. 不明
②心筋症	● 関連 2. 用語 2. 不明
③不透紙	● 調査 2. 用語 2. 不明
④種姓	● 調査 2. 用語 2. 不明
⑤骨格筋筋肉(ミオセラ、筋肉、筋肉性)	● 調査 2. 用語 2. 不明
⑥筋膜性筋肉	● 調査 2. 用語 2. 不明
⑦心筋症	● 調査 2. 用語 2. 不明
名義	● 調査 2. 用語 2. 不明

四、おもととなる都市選挙

① 酸-ケトン化反応	L.浅野 C.米謙造 S.不明
低酸素血症に由来するより尿-ケトン体は可逆となる。低酸素を作用時では、 <u>高脂肪酸</u> / <u>ケトン</u> = 1.5、 もしくは <u>高脂肪酸</u> / <u>ドロキシ酸</u> = 3.0となる	
② 肝機能障害上昇	L.浅野 C.米謙造 S.不明
③ 高コレステロール	L.浅野 C.米謙造 S.不明
④ 高アンセツア度	L.浅野 C.米謙造 S.不明
⑤ 脊椎病	L.浅野 C.米謙造 S.不明
既に脊柱筋膜炎でやせなき、炎症の発生は筋膜を中心に行なわれる。赤色と青緑色と白いred の色で皮膚を完全に覆うので赤青緑白の4色から成る。	L.浅野 C.米謙造 S.不明

C. 勤務の実態となる勤務状況(該当する項目に印を記入する)

① タンパク質抗体検査	L.該当 1.非該当 3.不明
曲菌球蛋白抗原- α -スカルクーリーニングでは10%の上位に至ってスカルクーリーニングされるが、実際にには陽性～弱陽性アルカルカルボキシナーキナーゼにて上昇するプロフィラルが認められる	L.該当 1.非該当 3.不明
② 離牛病原学的検査	L.該当 2.非該当 3.で明
非ケラトシノカルボン酸尿、ニチニコロン酸尿、ヘキサノイルアリシン、ヘキドロアリシン、イソペレトペレトアリシン、メチニコリナリアリシン、アミノ酸尿、エンドロキサンシタム酸など脂酰輔酶Aからなる物	L.該当 2.非該当 3.で明
③ 遺伝子検査	L.該当 2.非該当 3.不明
□遺伝子 □ワガラ □EFTR	L.該当 2.非該当 3.不明
④ 細胞免疫検査	L.該当 2.非該当 3.で明
(ムノ/ブロッキンなど) EIA および IFAT, IFTR の蛋白知見の低下的陽性化を認る	L.該当 2.非該当 3.で明
⑤ 尾鉗側面鏡検査(尾端 probe assay)による	L.該当 2.非該当 3.不明
培養検査と並行して寄生虫のアシカルカルニチン分析を行ふ。本疾患に特徴的なプロフィラルが認められると	L.該当 2.非該当 3.不明

（「新日本テニス」編集部による題目に名を冠する）

- 論述式**: C. 演説の傾向となる特徴を自らうらぎにおいて木瓜と認めた此題の傾向を見せて下さい
- 論述式**: ①～③の少なくとも二つに既存特徴的誤當を認めろ
- いづれにも該当しない

発症と経過

■ 治療その他	レボルニチジン投与 内服量 30/日	L 完全 Z 未実施 U 不明
---------	--------------------	-----------------

卷之三

■ 重症度分類に関する事項	
先天性代謝異常症の重症度評価（I～VI合計点）	
通常評価（I～VI）	各項目に該当する項目をもとに該当する項目に□を記入する
<input type="checkbox"/> I：出生時から即ち生後1ヶ月以内に発現する	<input type="checkbox"/> II：生後1ヶ月以上～6ヶ月以内に発現する

「中等正加算した総点数が36点の場合は

